

100歳以上高齢者の所在確認 市の対策は

民生委員や自治会等と連携し 安否の確認を行っている

村木 茂議員(市政) 新聞報道などによると全国の各地方自治体において、高齢者の所在不明者が明らかになつてき



ており、家族のきずなが大きく変わってきているのかと非常に残念な思いである。

そこで、本市では100歳以上の高齢者の所在確認について、どのような対策を取っているのか聞きたい。

市長 本市では、地域で支える福祉を目指し、高齢者の方々がいつまでも安心して暮らし続けられるよう、民生委員や自治会等と連携、協力し、安否の確認を行っている。

平成22年8月現在、市内在住の100歳以上の高齢者は59名おり、市職員が自宅へ直接訪問するなど、すべての方の所在確認を済ませている。

今後、引き続き市職員や関係機関等による高齢者の見守り事業を展開し、高齢者福祉の更なる向上に取り組んでいく。

民生委員の活動に対し 感謝を示し報酬を上げる考えは

他市の情報も踏まえ 見直しを検討していきたい

村井 浩議員(市政) 民生委員の報酬について、都からの活動費のほかに市社会福祉委員報酬を月9000円支給しているが、他市の状況と、委員の1か月の活動時間は、

福祉保健部長 同様に実施する25市中、報酬月額1位は多摩市の月13900円で、本市は下から6番目である。

活動時間は、1か月の約半分が費やされている。

議員 委員の改選ごとに欠員が増え、年々選出が困難に

なっていると思う。実態を分析し課題を解決するため、委員に対しアンケートを取るべきと考えるが、その際に想定する質問は、また、委員がより生き生きと活動していけるために、感謝を示し報酬を上げる考えは。

福祉保健部長 アンケートでは、やりがいや課題等についての質問が想定されると考える。報酬については、他市の状況も踏まえ、速やかに見直しを検討していきたい。

生ごみ資源化の研究 処理方式の幅広い調査を

資源化効率の高い方法を 研究していきたい

目黒 重夫議員(共産) 平成21年度から調布市と行っている生ごみ資源化共同研究の成果と今後の予定を聞きたい。

ごみ改革推進本部長 都環境公社職員から技術的なアドバイス等を受けるとともに、先進稼働しているメタン発酵施設の視察等を実施した。

今後については、コンサルタントに委託し、生ごみ資源化技術の整理、また、市民アンケートを実施し、その意向等を計画に反映させ、24年

京王線中河原駅の西口臨時改札口 常時開設への対応状況は

引き続き鉄道事業者に 要望していく

市川 一徳議員(市政) 京王線中河原駅西口臨時改札口は、定期券やパスモ等の利用者が上り方面に限り、午前7時から2時間利用ができる。

同改札口の常時開設に向けた動きが一向に見られないが住民からの要望がある中、京王電鉄株に対しては、

市長 改札口の開設は1駅につき1か所との鉄道事業者の考えから、今後、駅利用者が大幅に増加しない限り、実現は困難であるとの回答である。本市では、長期的かつ継続



▲中河原駅の西口臨時改札口

事例などを研究していく。

的に対応する必要があると考えるので、引き続き鉄道事業者へ要望していきたい。

議員 市は、各駅のバリアフリー化に対し補助金を支出しているが、改札口の開設も補助対象に加える考えは。

都市整備部長 補助金は、利用者の利便性向上のみを主眼とした事業については対象外であるが、補助対象への組入れについては、今後、国等の補助制度の活用や他自治体の事例などを研究していく。

地下水源の確保と活用など 都に対し、協議の場の設置を 要請すべきでは

安全でおいしい水の 安定供給のために 設置を要請していく

村崎 啓二議員(市政) 市民に、安全でおいしい水を提供するには水道水における自己水割合の維持向上が大切と考えるが、

市長 水道水は、市民が生活する上で最も大切なものであると考えるため、今後も関係機関に



▲水質調査(幸町浄水場)

対して自己水割合の維持向上を強く要請していく。

議員 水質調査等の毎年実施また、地下水源の確保と活用などの協議の場設置について、市や市長会から都に要請すべきと考えるがどうか。

環境安全部長 水質調査は3年に1回の調査とは別に、混合水の検査を月1回、家庭用水道水は毎日実施していることである。また、安全でおいしい水の安定供給のために、協議の場の設置を都へ強く要請していく。

小・中学校の防火シャッター 閉鎖作動時の危害防止対策は 検討していきたい

遠田 宗雄議員(公明) 国は、防火シャッターの事故発生を受け、小・中学校の防火シャッター閉鎖作動時の危害防止について、各都道府県に適切な対応を呼び掛けている。

そこで、市内小・中学校に設置したすべての防火シャッターに、安全装置を取り付ける場合の経費を知りたい。

教育部長 現在、未対応の防火シャッターは267か所あり、取り付けには約8000万円の経費が必要となる。

議員 安全対策を実施している中市の取り組みについて

る他市の事例、また、本市での今後の安全対策は。

教育部長 他市の事例では、シャッターの下部に衝撃をやらげ耐熱性のシートを付け、閉鎖作動時の安全対策の強化を図ったと聞いている。

本市の今後の対応については、児童・生徒の多様な行動に対し十分な安全性を確保し、安心感のある学校施設整備となるよう、危害防止機構の設置について検討していきたい。

※自己水：市内の水源から浄水処理して使う自給自足の水道水
他地：デジ完全移行まであと10カ月余り―府中市内で「地デジ難民」を生じさせない取り組みについて―

生ごみのゼロ運動 推進していく考えは

減量方法について 広報等を通じ、提案していく

田中 慎一議員(公明) 本市においては、生ごみ処理・活用のために英知を結集すべきと考えるが、市の生ごみ処理についての課題を聞きたい。

市長 燃やすごみの半分を占める生ごみを焼却に回さず、いかに資源化するかが課題であり、現在、調布市と生ごみ資源化施設の共同研究の中で検討している。

議員 生ごみのゼロ運動を推進していく考えは。

ごみ改革推進本部長 現在、具体的な仕組みづくりを考えるとないが、生ごみをできる限り減量する方法を、広報等を通じて提案していきたい。

他公立・私立・財政援助団体・委託事業など、自治体としての府中市がかかわる多様な個人情報保護に関する新施策の推進について
●地域見回り「わんわんパトロール」はその後どうなったか、どのように推進されているのかについて
●ドッグランの設置については全くとんざしている。早急に推進すべきと強く主張するが決断する気はないかについて